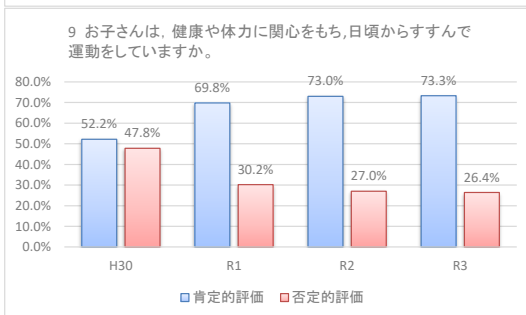
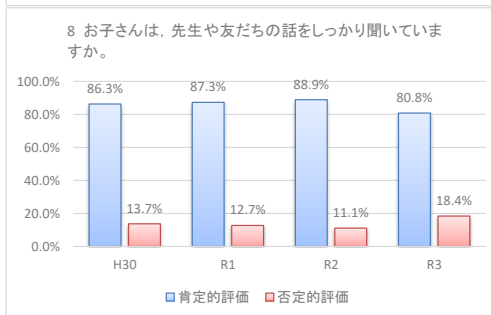
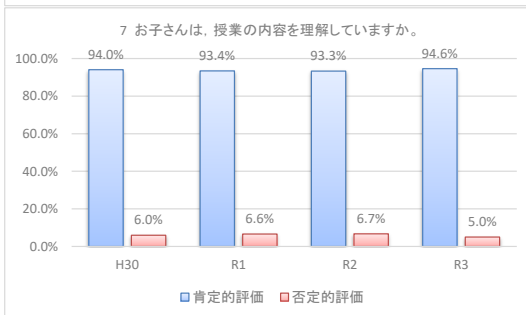
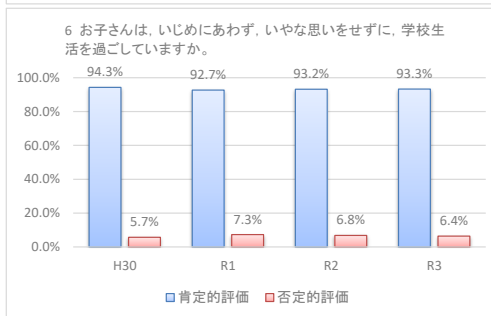
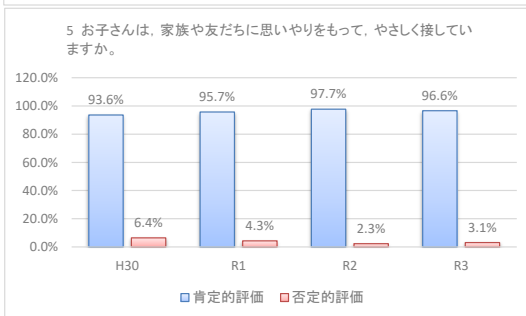
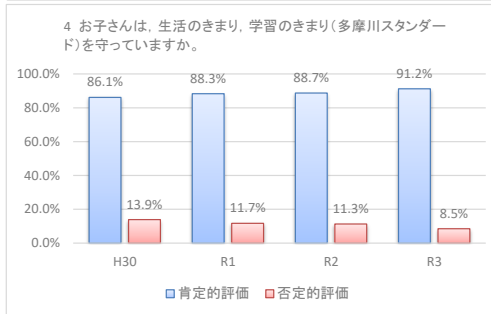
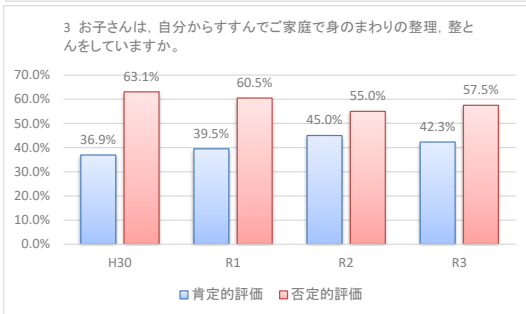
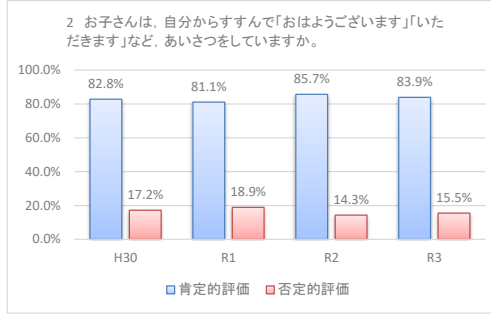
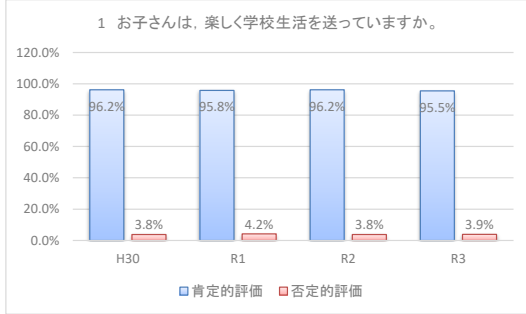


保護者 学校生活アンケート 肯定的・否定的回答別 経年比較 20220118



【考察】
 ◇1「学校生活」・4「規範意識」・5「豊かな心」・6「いじめ」・7「学習状況」の肯定的評価は90%以上となった。しかしながら、それぞれの項目において否定的評価の回答があることから、一層児童理解を深めるとともに、引き続ききめ細やかな対応、保護者との連携を図っていくよう努める。
 ◇2「あいさつ」については本校の重点課題の一つであるが、83.9%にとどまっている。「あいての目を見て・いつでも・さきどり・つながる心」をキーワードに、家庭や地域とも連携した新たな取組等をさらに進めるとともに一層の励行につなげていく。
 ◇3「整理整頓」は昨年度と比較すると若干の数値向上は見られるものの、学校での指導が家庭生活に十分に生かされていない状況が続いている。引き続き、家庭と連携し改善していく必要がある。
 ◇8「話を聞く」については肯定的評価としては80%を超えているものの、昨年度より8ポイント低下するとともに、「とてもそう思う」の回答が0%であった。児童の意識(肯定的評価93%)との乖離も見られるため、児童の実態把握と改善につなげる方策を検討していく。
 ◇9「体力向上」については、肯定的評価の高まりから、校内研究と関連した運動の日常化等の取組の成果と捉えられるものの、体育授業等をおして、身体を動かす心地よさ、運動の楽しさを味わい、さらなる「運動の日常化」につなげるような取組について、引き続き課題とする。
 ◇保護者の皆様の利便性を考慮し、初めてGoogleフォームによるアンケート実施を試みたが、回収率は昨年度に比較し大きく下回った。周知の仕方も含めて再検討を要する。
 ※新型コロナウイルス感染拡大により、昨年度に引き続き、保護者の皆様には学校行事や授業参観等、子どもたちの姿を直接見ていただく機会を十分に作る事ができず、学校生活における子どもたちの様子を十分に把握できない中でのご回答であることを認識した上で考察いたしました。